



プラス セ ー フ

+ Safe通信

(小売業・第4号)

令和8年4月発行

事務局：富山労働局健康安全課
電話 076-432-2731

富山小売業 + Safe協議会

【構成員】アルビス株式会社
株式会社大阪屋ショップ
富山県商工労働部労働政策課
富山県商工労働部経営支援課
富山県商工会連合会

「富山小売業+Safe協議会」とは

転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある小売業について、県内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和4年度から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです。

令和8年1月15日、富山労働総合庁舎（富山市神通本町）において、令和7年度第2回「富山小売業 + Safe協議会」を開催しました。

協議会では、富山労働局担当者による労働災害の現状に係る説明のほか、中央労働災害防止協会（以下「中災防」という。）の倉上北陸支所長による説明動画を視聴し、同協会の事業内容や労働災害防止手法などについて理解を深めました。



その上で、協議会における今後の取組について意見交換を行いました。

構成員の意見、協議内容等

- ・ 中災防で無料講師派遣などの事業を行っているということは知らなかった。
- ・ 中災防の事業を活用したセミナーなどが開催されるのであれば参加してみたい。
- ・ セミナーを開催するのであれば、構成員以外の事業者にも参加を呼びかけて協議会の活動を知ってもらう機会にするとよいのではないか。

以上の議論を踏まえ、令和8年度は、中央労働災害防止協会の中小規模事業場安全衛生サポート事業（集団支援）を活用して小売業における労働災害防止をテーマとしたセミナーを開催することとし、その際、構成員以外の事業者にも参加を呼びかけて協議会の取組を広く周知することを確認しました。

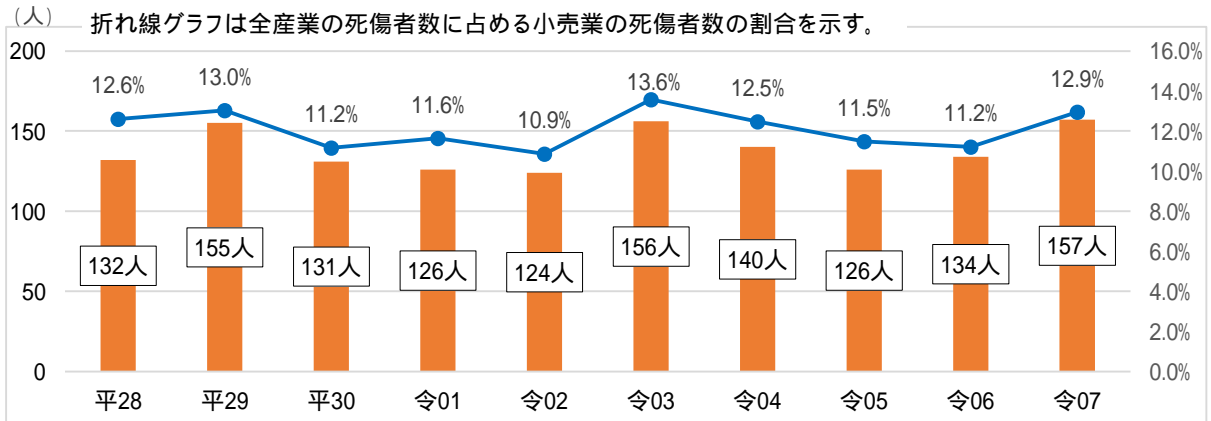
富山労働局は各事業場に「SAFE コンソーシアム」への加盟を呼びかけています！

2022年6月に厚生労働省が設立した、労働災害防止の取組を進める活動体。「Sefer Action For Employees」を旗印に、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指して取り組んでいます。



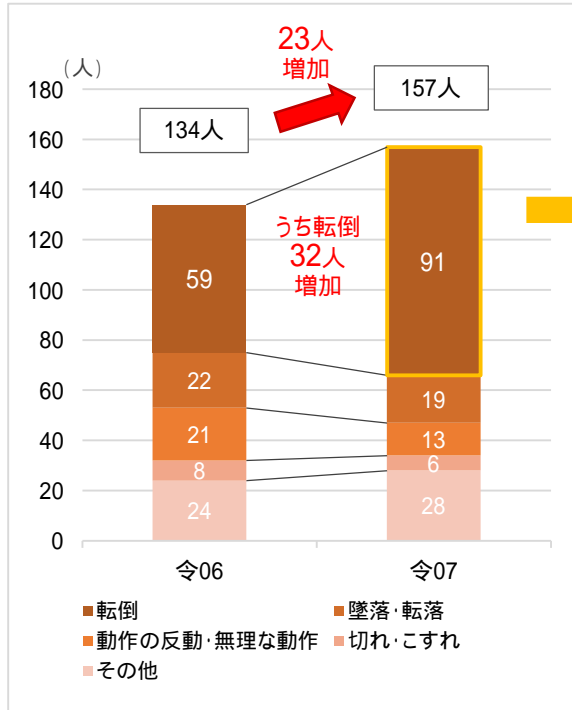
【富山県内の小売業における労働災害発生状況】

○休業4日以上死傷者数の推移(過去10年間) 新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害を除く。



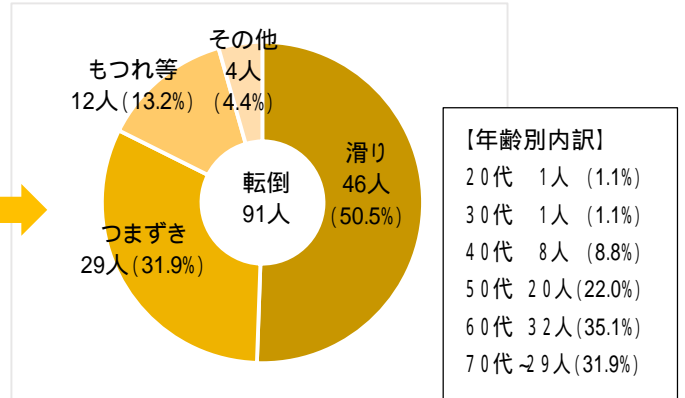
・過去10年間にわたりほぼ横ばいで推移しており、減少傾向がみられない。

事故の型別災害発生状況 (R06/R07 比較)

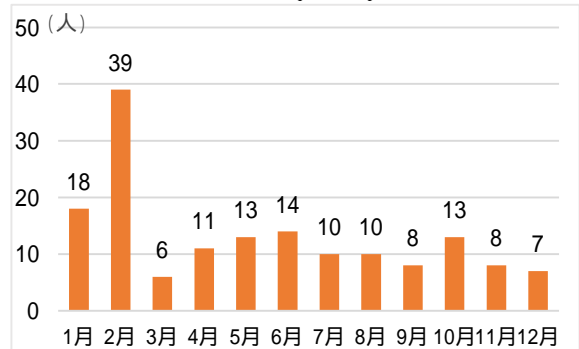


・令和7年は、前年と比べ「転倒」が大幅に増加した。
 ・寒波の影響で、2月に「滑り」による転倒が多発したことが要因と考えられる。

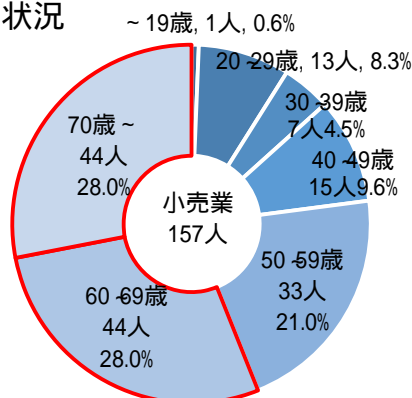
・「転倒」の要因別内訳



月別災害発生状況 (R07)



年齢別災害発生状況



・60歳以上が56.1%を占める。
 (全産業合計では35.1%)
 ・加齢に伴う身体機能の低下や骨折しやすさのため、年齢が高いほど被災・負傷するリスクが高まり、特に「転倒」では60歳以上の占める割合が高い。
 ・小売業においては、「転倒」による労働災害の占める割合が高いため、高齢者の割合が高くなっていると考えられる。